

## 第1回高齢運転者標識の様式に関する検討委員会議事概要

### 1 日時

平成21年1月30日（金）午後3時～午後4時30分

### 2 場所

警察総合庁舎第11会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員（五十音順）

浅葉委員、駒場委員、鈴木委員、中谷委員、山村委員

#### (2) 警察庁出席者

東川交通局長、倉田交通企画課長、池田交通安全企画官

### 4 議事概要

#### (1) 警察庁説明

警察庁から、委員会の開催趣旨、高齢運転者標識の制定経緯、現行の高齢運転者標識制度、高齢運転者の支援に関する検討委員会報告書、高齢運転者標識の理念とモチーフ等について、資料に沿って説明。

#### (2) 自由討議

委員から以下の意見が述べられた。

形よりも色に不満が多いのではないか。

日本はデザイナー大国であるので、トップレベルのデザイナーからデザインを募集するという案もあるのではないか。

高齢者が付けたくくなるようなデザイン、制度であるべき。

高齢運転者の場合には特徴のある運転をするので、周囲の運転者に、あの車は高齢者が運転しているということを示すマークは必要。特に高齢者になると多少コミュニケーション能力が低下してくるので、車の外側に高齢運転者であるというマークを貼って、コミュニケーションの手段とすることは大事である。

高齢運転者標識を付けたくないというのは、デザインの影響もあると思うが、今の社会が高齢者に対して優しくないために、周囲の人間に自分が高齢者であることを示したくないという気持ちの表れではないか。どんないいマークを考えても、社会が今のように高齢者を弱者と見ているときには、高齢者はマークを付けたがらないのではないか。デザイン変更も必要であることは承知の上だが、社会の考え方を変化させることも必要。

もし新しいマークを作るとすると、社会に混乱をきたしてしまうのではな

いか。

デザインを変更するかしないかを先に決めてしまうより、現在のもみじマークを含めて4つぐらいのデザインを出して、どのマークが適切か国民の判断を仰ぐというやり方がいい。

努力義務としたときに、一番心配なことは、マークを付けなくてもいいと考えられてしまうこと。デザイン変更が着用率向上のきっかけになればいい。

なんとなく色を決めるということではなく、科学的な見地から、これ以外はあり得ないという色を決めることができればいいのだが。

(3) 現行の高齢運転者標識について国民の意見をきくことについて

現行の高齢運転者標識について、国民の意見を広くきく方法等について、次回検討委員会で議論することとなった。

## 第2回高齢運転者標識の様式に関する検討委員会議事概要

### 1 日時

平成21年3月10日（火）午後3時～午後4時30分

### 2 場所

中央合同庁舎2号館18階第5会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員（五十音順）

浅葉委員、駒場委員、鈴木委員、中谷委員、山村委員

#### (2) 警察庁出席者

倉田交通企画課長、宮内課長補佐

### 4 議事概要

#### (1) 警察庁説明

警察庁から、道路交通法の一部を改正する法律案及び「高齢運転者標識のデザインに関するアンケート」について、資料に沿って説明。

#### (2) 自由討議

委員から以下の意見が述べられた。

高齢者に対するアンケートなので、高齢者に対する有効回答数を1,000通より多くする必要があるのではないか。

高齢者用シートについては、必要回答数を1,500通にすることも考えられる。

アンケートの実施場所についてだが、高齢者が多くいる県は必要回答数が多く配分されるのか。

アンケート質問事項に関する意見については省略。

## 第3回高齢運転者標識の様式に関する検討委員会議事概要

### 1 日時

平成21年6月2日(火)午後3時～午後4時30分

### 2 場所

中央合同庁舎2号館18階第4会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員(五十音順)

浅葉委員、駒場委員、鈴木委員、中谷委員、山村委員

#### (2) 警察庁出席者

倉田交通企画課長、池田交通安全企画官

### 4 議事概要

#### (1) 警察庁説明

警察庁から、高齢運転者標識のデザインに関するアンケート内容及びアンケート集計結果について、資料に沿って説明。

#### (2) 自由討議

委員から以下の意見が述べられた。

#### 【アンケート結果について】

50～69歳という高齢者予備軍の年齢層にネガティブな感情を持つ方が多い。これは、もみじマークのデザインに対する反発ではなく、年を取ることによってマークを付けなければならないことへの反発ではないか。

問4～問7を見ると、問7の「既存のマークとの混同」については、混同が生じないと言い切れる数値を示している。しかし、その他の回答結果は数値が少ない。6割程度の数値を判断の基準に置くかは微妙なところ。

「全く気に入っていない」に票を入れるというのは相当なもので、それが1割程度いるというのは多い。

もみじマークのデザインを変更するか否かはまだ決まっていないにもかかわらず、デザインを変更することに決まったと思っている方が多い。そのような報道がなされたのかもしれないが、回答ももみじマーク変更を前提としている可能性がある。

制定から11年間経っているとなるとマーク自体もかなり見慣れてきている。

全体の傾向として、高齢者より一般の方がよりネガティブである。しかし、考え方によっては、高齢者の印象がよければ問題ないという発想もある。

「全く気に入っていない」が多い層は、50～69歳と次いで70～74歳であり、50～74歳までが一番ネガティブな印象を抱いている。

従来、75歳以上義務化、70～74歳努力義務となっていたものを、今回の法改正で70歳以上すべて努力義務化したのに、その70～74歳の層の支持が少ないのは懸念すべき事態。

「大変気に入っている」以外の「まあまあ気に入っている」以下の選択肢を選んだ方は、もっといいマークがあればそちらを支持するということだろう。別のデザインと今のデザインを見比べて、どちらをつけたいかを問うのが健全なのでは。その結果、やはり今までのマークがよかったというのであれば、結論としては納得。

対案を出して、今のもみじマークと代替案とどちらがいいのか国民投票すればとてもセンセーショナルであり、交通安全意識を高める上でも役に立つ。

理念についてももう一度検討した上で、代替案を選定し、そのデザインと現行のもみじマークのどちらがいいか公に問うということでもいいか。

#### 【代替案の基本理念について】

全く新しいマークの場合は基本理念のパブコメをするのもわかるが、今回は既存のものがある状態で基本理念のパブコメをかけるということになる。そうすると、もみじマークは変更するのだという印象を一気に与えることになるのではないか。

変更・存続・初心者マークとの統一など様々議論はあるが、最終的にどうするかは今の段階では決められない。

「仮にマークを作るなら、このようなコンセプトでいいですか。」「仮に新しいマークを作るなら、このデザイン案になるのですが、もみじマークとどちらがいいですか。」「場合によっては初心者マークと統一もあり得るのですが。」といったように、いずれも国民に「仮に」というかたちで聞きながら、決めていくことになるだろう。

いずれにせよ、代替案がなければ始まらない話。

若葉マークとの統一というのは、若葉マークももみじマークもどちらも目的が運転者保護なのであれば、統一してはどうかという議論のことである。

免許を取ったばかりの者の運転と高齢者の運転は特性が異なるのではないか。高齢者は車間距離をあけたがるが、初心者は詰めたがるなど。相手の特性を他のドライバーがわからなければならぬので、統一は如何なものかと思う。

まずはあらかじめ国民の皆様にも、代替案を作成することと、代替案ともみじマークを比べてどちらがいいか投票していただくことを予定している旨を明示する、その上で、代替案を作るとした場合、基本理念は以下のとおりであるといったパブコメを行うということでもいいか。

基本理念についての懸念として、理念の中に「親しみ」という文言が入っていると、基本理念だけに留まらず、デザイン自体が少し丸くなってしまう。

基本理念とデザイン自体のテーマを変えてみてもいいのではないか。

現在の基本理念にあるような内容は、審査する側の基準としてあれば足りるもので、公募の際にデザインのコンセプトとして示す必要はない。

パブコメにかけるのはあくまで審査基準であり、デザイン募集の際には別のコンセプトで公募をかけるということか。

## 第4回高齢運転者標識の様式に関する検討委員会議事概要

### 1 日時

平成21年9月8日(火)午後3時～午後4時15分

### 2 場所

警察総合庁舎4階第11会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員(五十音順)

浅葉委員、駒場委員、鈴木委員、中谷委員、山村委員

#### (2) 警察庁出席者

田中交通安全企画官、宮内交通企画課課長補佐

### 4 議事概要

#### (1) 警察庁説明

警察庁から、第3回検討委員会議事概要、もみじマークの代替案選定に係る基本的考え方の意見の募集結果、代替案選定のための新たなデザイン案の募集要項及び代替案の選定手順について説明。

#### (2) 自由討議

委員から以下の意見が述べられた。

##### 【基本的考え方の意見の募集結果について】

「自らの意思で自動車に表示したくなるもの」という部分について「マークを表示してもらいたい」という意図が感じられるので削除すべきだという意見があるが、むしろそういった意図が伝わった方がよい。

4項目に追加すべきと思われる項目もないので、基本的考え方については原案のとおりとする。

##### 【新たなデザイン案の募集要項について】

代替案選定に係る基本的考え方については、募集要項の最後に注記する形にした方がよい。

募集期間は50日くらいが良い。

応募点数は、1人3点までに制限すべきだ。

応募者の氏名や連絡先の記載は基本的に求めた方がよい。匿名希望の人は無記名でもよいことにしてはどうか。

##### 【代替案の選定手順について】

次回の委員会で代替案を選定した後、その次の委員会で具体的な意見募集方法を検討することとしてはどうか。

国民に定着してきている既存のもみじマークと新しい案とを並べてどちらがいいか選んでもらうというのは、これまでになかった選定の仕方であり、大いに国民の関心を集める可能性がある。新聞等で大きく取り上げられれば高齢運転者標識のさらなる普及にもつながるかもしれない。具体的な意見募集方法については、事務局で検討していただき、検討委員会に案を示していただきたい。